

チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO. 179号
9月10日(火)

☆原点回帰☆

原点回帰：自分が原点であると思った場所に帰ること。初心に戻ること。

今、あなたたちに一番必要とされている言葉・一番思い出さなくてはいけないことかもしれません。

日曜日、練習試合をする中で2年生・1年生、そしてチーム全体にそれぞれプレー面・技術面とは違った観点で話をしました。



(2年生へ)

一年生大会からちょうど半年が経ちました。先輩たちが引退し、部活の中では最上級生になりました。練習では中心となり、練習試合にもコートに立つ機会が増えました。今、練習ができること・試合に出場することなどが“当たり前”と心のどこかで感じている人はいませんか。本当の意味での“必死さ”を忘れかけている人はいませんか。

(1年生へ)

先生はできる限り、昼の空いた時間を利用して、より多くの人にゲームをする機会を与えたいと思っていますし、その姿を見届けたいと思っています。あなたたちも“やりたい！”はずです。しかし、その“やりたい”という気持ちが、声も出さず、ボールも自分からとりにいけない今のあなたたちからは伝わってきません。

厳しいことを言いました。でも、『伝えるなら合しかない!』という気持ちで、先生も伝えました。

【選抜選手の眼・表情】

「県選抜選手のプレーはもちろんだけど、選手たちの眼・表情をしっかりと見なさい。」

先日の練習試合の時、横のコートでは県選抜選手12名が練習していました。その時にみんなに投げかけた言葉です。あなたは、選手たちの眼・表情から何を感じました。



【保護者の皆さんへ】

日頃は、女子バレー部の活動にご理解・ご協力ありがとうございます。

本日、別紙で「ハーベストカップ」の案内を配布させていただきました。名古屋市内の中学校を中心に総勢約60チームが参加する歴史ある大会です。遠方への送迎になりますが、よろしくお願いします。また、送迎の際で結構ですので、ぜひ体育館をのぞいていただければと思います。とても熱く素晴らしい雰囲気の中で、子どもたちが頑張っている姿をご覧になれるかと思えます。尚、終了時刻につきましては、大会の進行具合にもよりますので、分かりかねます。ご了承ください。

